

潮流



2015
5月号
No.243

大津島(平成27年4月1日現在)
人口 317人(男136人 女181人)
高齢化率 75.7%

～若潮の会通信～

若潮の会 郷土料理講習会



郷土の味!

つながる

垣の内農園の皆様、ありがとうございました。

三月一日『郷土料理講習会』に参加しました。料理メニューは、饅頭とこみそ作り。「えっ、饅頭？」大津島の郷土料理に饅頭があったのか。エプロンも新調して興味津々で参加しました。

まずは饅頭作りから、生地から作るのかなと思っていたら、既に生地とあんこは出来ており、あんこを生地で包む作業だけです。楽しみながらも慎重に包みましました。全てを包み終わった後、すぐに蒸して試食です。「おっ、うまい！」出来たてのまんじゅうは、本当に美味しかったです!

よし次は『こみそ』作りと思いきや、これも既に垣の内農園の方々が用意されていて、試食係となりました。「今日は何をしに来たんだろう」と参加者全員少し心に引っかけかきを感じつつ、野菜スティックでこみそを味わいました。色々な味があつてどれも美味でした。

そうこうしている間に、そのまま昼食へ突入。美味しい料理が次から次へと出るわ出るわ。

料理講習会は本浦垣の内農園の方々と『若潮の会』の活動視察に来島されていた県職員を巻き込んだの大宴会となり、美味しい料理と美味しい酒を堪能し幕を閉じました。

料理の調理方法は習得出来なかったが、楽しくて美味しい一日でした。

文||馬島出身 高松 常登

三月二九日、今年も大津島さくらまつりが開催されました。例年より時期が早かったため、桜はまだほとんどがつぼみ。それでもお天気に恵まれ、須金と大津島の老人クラブ他、たくさんの方々に参加されました。

今年の一大イベントは、なんとと言っても藤岡恭子一座の公演でした。六人が「白鳥の湖」をはじめたくさんの演目を、ドタドタよろよろとコミカルに演じる様子に、観客の皆さん大ウケでした。後で劇団員が女性は六人、男性が一人だと聞いてびっくり。

野外では、去年に引き続き、若潮の会が出店。「焼きそば」をはじめ、コーヒーやお酒の販売をしました。去年のラーメンも美味しかったです。焼きそばも好評だったようです。

そう言えば、劇団の公演があんまり楽しかったので、「私もやりたい!」という、島の方々の声もあるようです。新たなつぼみのほころぶ予感(?)を感じる春の一日でした。

大津島 さくらまつり



文= 渡邊 あゆ子



好久不見

文 石田 誠

こんにちは、大津島の皆様。四月一日から馬島公民館にお世話に成っております。石田誠と申します。私は、一九五〇年近江に生まれ、中学卒業迄の十五年間当地に住んでおりました。

高校卒業後は、旧新南陽市の某企業に従事しておりました。私が五十代を迎えた頃から諸先輩方々が、次々に定年退職を迎えられ、やっと自分の歳に気付かされました。今、私も六十四・五歳となりました。

この歳になると体の老朽化が進み、最近目は近くも遠くも見え難く、時には、目の中で蚊が飛ぶ事も有ります。又靴下を履く時、立ったまま履くと不安定で、なるべく坐つて履く様にしております。それから**の頻度も増え中々体のコントロールが難しく、あちこちのメンテをしているところでもあります。そんな中でも、何かトライしたいなあと思っております。

ある日“しゅうなん” 二月号の公民館職員の募集を見て、お願いし今回勤めさせて頂く事に成った次第で御座います。今回の業務は、全くの未経験の業務であり、本当に不安で一杯です。が、生まれたこの地に、何かお役に立てる事はないかなあ、少しでもお役に立てる事が出来たら良いなあと思っております。何時に成ったらそう成るか分かりませんが、少しずつ勉強して参ります。

これから、皆様方にはたくさんご迷惑をお掛けする事と思致します。どうぞご指導よろしくお願い致します。

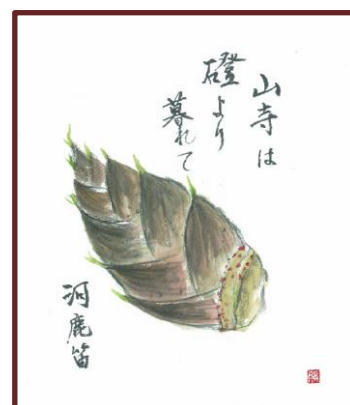
再見



季節の俳画

安達 孫子

筍



掘りたての筍の瑞々しさを描いてみました。
食用はほとんどが孟宗竹で季節感豊かな風味がありますね。

藤の花



藤の花の名所には見事な長さの房状の花もあります。
風薫る五月の連休頃に島のあちこちで見かけます。

海の街道・十七

【幕末の大津島】



末兼玄積の記録

文 = 末兼正純

明治維新とその前夜は、日本史上最も激しい動乱の時代の一つであったと言ってよいだろう。

その頃、大津島の人たちはこの激動にどのような影響を受け、どのように受け止めていたのだろうか。

私の四代前の末兼玄積が遺した嘉永三年から明治元年（一八五〇〜一八六八）に至る記録がある。

玄積（一八一三〜一八七〇）は大津島で生まれ育ち、京都・長崎に遊学し、生涯大津島の医者勤めた。

その記録を見ると、徳山藩の殿様が木原神社を参詣した時のお供達の名や役名、種痘を受けに富海・戸田・給島などから大勢の人が来たことなどを詳しく記しているが、天下の情勢や幕末の志士たちの活躍はおろか、その名すら全く記載が無い。

激動の時代が窺えるのは、節約令、農兵の募集、今の戒厳令のようなお触れ、維新で貨幣の基準が変わったことなど藩の役人の示達と、長州征伐の小倉口の戦いに軍医として三ヶ月従軍した時のことだけである。

これらから考えると、知識人と言ってよい玄積すら、時代の大きな動きは知らなかったのではないか。

新聞もテレビもない時代、大津島だけではなく、一般の人たちは身近なことしか知る術がなく、いつもと変わらぬ日々を送っていたのだろうか。

だからこそ、わずかな人々たちだけであれだけの大変革を行うことが出来たのかも知れないとも思う。

情報というものの持つ意義を考えさせられる。

知っちよるかね



一年で一番気候のええこの頃、草らあもそれは同じと見えて、その伸びのの早あこと。草取りを始めてしばらく経って後ろを見たら、はあちようどええほど伸びちよるんちゃあね。そんな時、小石の中の草を草けずりを挿すようにせて手首を返しながら取りよつて、この手つきは何かに似ちよるがと思うて、思い出したのがかまかぎ。かまかぎちゆうのは鎌が古くなつて刃も無あようになつたのを、柄を取つてええ具合に曲げた刃の 半分位までボロを巻き付けそこを持つて、草を取つたりはまぐりを掘つたりする、今で言うところのリサイクルの道具じゃね。昔、バアサマ達が

「草と戦う」

文＝松本 千恵子

かまかぎでまだまだ小さい草をチマチマ取りよるのを見て、その畑が余りにもきれいなけん思わず「どうやったら畑がこねえにきれいに出来るかね」と聞いたら、チラリと見たバアサマ、「そりゃあ、草が大げえならん内に草あ取らんやあ、あんた」と答えつつ顔は上げんし、かまかぎを持つた手も休めんと一心に草を取り続けよつた。若かつた私はなんか無視されたようにもひがんで、そんな事が出来るかいなどと思つて、言う事も聞かんかつたけど、あのバアサマの姿が人間まつとうに生きる姿ちゆうものじやつたなあと年を取つた今さら思う。我が草ジャングルの畑を見ながら。

～若潮の会通信～

第1回総会が開催されました！



H26報告やH27計画を協議しました。

文＝六郎万淳一

5月5日、海の郷にて、総勢17人が参加して初の総会が開かれました。

代表世話人として刈尾出身の野間久生さん、事務局として本浦出身の安達道代さん、島内世話人として馬島の渡邊あゆ子さんが選任されました。

島内外を問わず、出身者が協力して、ますます大津島を盛り上げていくことが期待されます。



島内の若者とバレーで交流しました。



懇親会で語りました。

若者の流出に歯止めをかけ、企業の誘致に努め、若者の働く場を作り、地域の創生は当県より発信し、中山間地域の支援、子育て支援、医療、教育、防災、安心安全を県政第一の目標とし心身を引き締め県政に取り組んでまいりますと、大きな鯛と花束を高々とかざし、当選を果たした各地の知事の皆様、まことに誠に御苦労でございます。

小さき我が集落もこの二十年の間に戸数人口は半減となり、若者不在の年老いた私どもは、年金支給日を待ち望み、山野は猪に荒らされ、ついに中学校も休校となり、痛む神経痛に再起をかけ、肅々と迫り来る老化は、肅々と迫り来たりし少子高齢化に似て、山野の荒廃、漁場の衰退にどのような施策があるのか。

治癒力を失った我が体には、集団的自衛権と同じく存在危機事態として手術する他に手段は無いかと思えど、この手術には必ず後遺症が残るとのうわさを聞けば、医師の指示に従い、歳相応の行動に心掛けるべし、事態相応に、歳相応にとつぶやく。

ひろしのつぶやき



「歳相応」

文＝屋野 廣志

生まれ変わる“砲台山”

3月16日。砲台山山頂にて階段設置作業が行われました。

今回の作業では事前準備を含め、のべ45人（大津島観光協会会員と県市職員）が力を合わせ、作業を実施しました。



階段設置当日は、“かけや”を振って、80段の階段を作ることができました。完成した階段の出来栄は上々で、良いところの登山コースに来たようです。作業の様子は、シティーケーブル周南でも放映されました。

平成26年度1年間で、山頂周辺の伐採・整備事業を実施したことにより、砲台山は美しい姿に生まれ変わりました。皆様、是非一度美しい眺望を見にいてみて下さい。

～事務局からのお知らせ～

大津島地区社会福祉協議会よりお礼
平成26年度善意銀行へのご寄付をありがとうございます。

- 預託者 高松 工 様
亡妻 高松勝代様の香典返しとして
金 10万円（市社協20,000円 大津島社協80,000円）

移動図書館<やまびこ号 Jr.>

5月22日（金） 6月24日（水）

- 馬島巡航待合所 11:30～12:00
- 刈尾巡航待合所 12:20～12:50

●大津島水道局組合からのお知らせ

4月1日付けで、大津島水道局組合長が、“岡崎正明さん”に交代しました。水道の水漏れなどは、岡崎さん（TEL 090-1015-2277）までご連絡ください。



大津島の最新情報 更新中!!
<http://shunan-inaka.jugem.jp/>

アイランダー2015 実行委員 大募集!



今年度も、参加します。全国に大津島を紹介しましょう。

企画会議、前日準備、当日運営等の活動を、一緒に考え、共に動きましょう。

5月29日までに大津島支所へご連絡をお待ちしています。



▼完成した階段。

作業が終わり、グッタリした20代。横には、息も切れていない島民たち。大切なのは体力ではなく、“技術と経験”でした(笑)。

編集後記

私事ですが、この度一年間お世話になった馬島公民館を辞め、四月六日より「大津島巡航株式会社」にて、事務の仕事にさせていただくこととなりました。

早いもので、転職をして一ヶ月が経ちました。この四年間、お話を聞いたり、文章を書いたり、発表するなど“右脳”ばかり使っていた僕にとって、「足し算、引き算」「会計処理」といった“左脳”ばかり使う仕事に、知恵熱が出るんじゃないかと思うくらい頑張っております。

これからは、「つい手伝いに行く」「ついお茶を飲む」といったことが出来なくなり、とても寂しい気持ちでいっぱいですが、

職場は変わりましたが、今後も地域行事や、大津島の活性化に従事していくことは変わりません。また島から通勤しますので、夜間は本浦の自宅にいます。緊急搬送等でも協力することができると思います。

徳山に出た際は、事務所にいますので、声をかけてもらえると幸いです。今後とも宜しくお願いたします。

大友翔太